

# 学社融合教育

## ～ 地域との交流及び栽培活動を通して～

### 目標・ねらい

子どもの自発的な交流を中心に意識的にディサービスとの交流を図る。  
 高齢者に対する感謝と尊敬の気持ちや思いやりの心を育む。  
 栽培している植物の世話をすることによって、生命の大切さを  
 知る。(1年一人一坪農園、5年稲作作り)  
 地域の方と学校との連携(学社融合)(資料1)

教育課程上の位置づけ  
 ・生活科  
 ・総合的な学習の時間

### 事前指導・経緯

#### 学年広報活動

学年だよりを通じて、ディサービスとの交流の意義や栽培の目的について知らせる。

#### アンケート・実態調査

子どもの実態が反映できるように作成する  
 保護者への意識調査の実施  
 お父ちゃんの会の意識調査

- 学年広報誌による啓発活動
- ディサービス広報誌の活用
- 学校だよりによる啓発活動

#### 事前打ち合わせ

ディサービスセンター職員と一学年職員との打合せ  
 年間計画のすりあわせ  
 保護者への啓発活動

#### 保護者へ

一人一坪農園や稲作作りデイ交流を通して「命を大切に作るキャンペーン」の啓発を図る。  
 授業参観への呼びかけをする。  
 家庭での話し合い  
 お父ちゃんの会への協力依頼をお願いします。

#### 校内広報活動

担任が中心となり、「七夕祭り」「昔遊び」の授業展開を知らせる。  
 畑開き参加呼びかけ  
 PTA広報委員会との連携

### 総合学習との関連

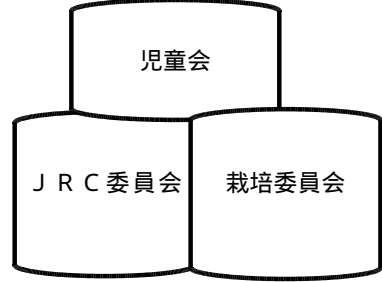
ディサービスセンターの高齢者との交流の機会を設けることにより、高齢者に対する感謝や尊敬の気持ちや思いやりの心を学ぶ。  
 介護の手伝いをするによって、いたわりの体験活動を得る。  
 栽培体験や稲作作りを通して、世話の仕方や植物への優しい気持ちを育てる。  
 収穫の喜びを味わわせる。  
 お父ちゃんの会や地域の方の協力により開かれた学校作りを進める。

#### 背景

- 都市化や核家族化、日常での高齢者との交流の機会の減少
- 栽培に対する体験不足、動植物への愛情の欠如

#### 委員会活動連携

全校委員会が中心となり、連携して取り組む。



## 実践内容

実践授業 1年生活科  
一人一坪農園



「田開き」

実践授業 1年生活科  
ディサービスとの交流



「七夕祭り」

実践授業 5年生総合学習



「田植え」

## 事後指導

### 自己評価

ディサービスやお年寄りへのお礼の手紙の作成  
田開きや稲作で指導していただいた講師への礼状作成

#### 保護者の感想「田開き」

- ・「何を植えようか」と子どもと相談して、家で種から苗になるまで育てました。収穫できるか不安でしたが、時間のあるときは子どもと学校に行って観察したいと思います。
  - ・自分の畑を持って苗を大切に世話をし収穫ができることは、子供たちにとってはとても大切なことであると思います。
- #### 「七夕祭り」
- ・家庭ではお年寄りと話す機会はありませんでしたが、このお年寄りとの交流でお年寄りの知識に驚きました。

### 校内広報活動

ディサービスとの交流の紹介  
一人一坪農園の紹介  
稲作作りの紹介  
啓発活動  
学年だよりの発行  
学校便り「小だよりの発行

### 校外広報活動

ディサービスセンター職員との反省会  
授業公開  
ホームページの活用  
地域学習協議会での発表  
お父ちゃんの会月例会発表

## 取組の評価

児童が高齢者との交流により、お年寄りに対する感謝と尊敬の気持ちや思いやりの心を育むことができた。また、お年寄りから様々な生きた知識や人間の生き方について学ぶことができた。

自分の畑で野菜を大切に育てたり、田植えや稲刈りをすることによって、優しい気持ちや生命を大切にしようとする態度がみられるようになった。また、収穫の喜びを味わうことができた。

地域ボランティアやお父ちゃんの会の協力により、開かれた学校づくりを進めることができた。



4年  
公園ペンキ塗り  
(市・公園緑地課)



5年  
稲作作り  
(社会科、  
総合学習)

6年  
ボランティア活動  
「ボランティア広報誌より」

7/28・29 元気いっぱい   
小学校6年生。入居者とオセロをしましたが残念がなら  
惨敗！！練習して強くなってまた遊びに来て下さい！